



えひめ千年の森をつくる会 殿

東温市

■事績

「千年の森をつくる会」は元愛媛大学農学部教授でアカデミックアドバイザーの鶴見武道さん・恵子さん夫妻が2000年に立ち上げたボランティア団体(会員数約100人)で、東温市井内を拠点に「森林を守り育てる活動」を行っている。

長年、東温市の棚田でコメ作りを通して子供たちに自然と食の関りを教えてきたほか、今も子供たちを集めた自然観察会や、愛媛大学附属高校での炭焼き出前講座などを行い、自然に親しみ豊かな感性をもって生きる力を身に付けてもらおうと活動している。

また会員による枝打ちや下刈りなどの森林保護活動にも力を入れていて、大人から子供まで幅広い世代に森林づくりを実践してもらい、その意義を体感してもらおうと同時に、自然を生かした未来循環型の生活を提唱している。

昨年は新型コロナウイルスの影響でイベントが休止になることもあったが、それでも鶴見夫妻を中心に講演会やオンライン講座、デジタル書籍の発行などで森林づくりの大切さを広く伝えている。

森林を守り育てる活動を続けなければ、土砂崩れの発生や水源涵養機能の低下が心配される。会の活動が20年を超えた今、SDGsなど循環型社会への取り組みが注目されるが、「えひめ千年の森をつくる会」は、まさに自然と共生する持続可能な社会をつくることを目指して、今の森林が千年後も森林であり続けられるようにと活動を続けている。